

事業者との連携で役割を分担！

フードドライブを継続的な取組に



受付期間 令和3年10月1日～11月30日

受付窓口 戸田市環境課

参加のきっかけ

戸田市では、コロナ禍で生活に苦しむ世帯を支援するため、令和2年度にフードドライブやフードパントリーを単発で実施したことはありますが、継続して実施する仕組みがありませんでした。

このような中、令和3年5月に、明治安田生命保険相互会社から連携事業として「フードドライブ」の提案があり、継続的な取組として職員を対象にしたフードドライブをスタートしました。この取組が新聞などに掲載され、市民や事業者からも食品等の提供の相談が寄せられるようになりました。

なお、県のキャンペーンに参加することで、市民や事業者の食品ロスやフードドライブに対する認識の向上につながっていると思います。

役割分担や工夫

明治安田生命との枠組みでは、市が食品を集め、明治安田生命が集めた食品の回収と子ども食堂に配送するという役割分担で実施しています。

食品の受付は、環境課の窓口で職員が対面で行い、個数や期限を確認して台帳に記録しています。

明治安田生命は月末に回収に来て、子ども食堂に配布しています。

この取組では、市は食品を集めることに集中でき、配送や子ども食堂との調整は明治安田生命が行うため、フードドライブを実施する際の負担が分散されています。

今後について

今回のキャンペーン期間中、こども家庭支援室がイベント内でフードドライブを実施したところ、参加者から多くの寄贈をいただきました。また、町会活動の一環として、フードドライブを自主的に実施する町会がいくつかあるなど、市民等にフードドライブの取組が浸透してきていると感じています。今後もより地域に根差したフードドライブの輪を、さらに広げていきたいと考えています。